

WPA 公認 2023 第 28 回日本 ID 陸上競技選手権大会

(兼) パラ陸上競技記録会 開催要項

- 1 目的 この競技会では、スポーツを通じお互いを尊重し、理解しあいながら共に支え合い、又競い合うことによって障がいのある人もない人も共に輝くことを目指す。知的障がい者の陸上競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高いレベルの選手による競技会を開催する。また、東京 2020 パラリンピックのレガシーとして、知的障がい者の競技スポーツへの志向意欲をより高めると共に、パラアスリートが広く社会参加への促進に資することを目的とする
- 2 名称 WPA 公認 2023 第 28 回日本 ID 陸上競技選手権大会 (兼) パラ陸上競技記録会
- 3 主催 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
- 4 後援(予定) 公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会
(順不同) 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター
一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会 公益財団法人日本ダウン症協会
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 一般社団法人日本全国手をつなぐ育成会連合会
全国特別支援学校知的障害教育校長会 香川県 高松市 香川県障害者スポーツ協会
香川県特別支援学校校長会 香川県障がい者スポーツ指導者協議会
ワールドマスターズゲームズ 2027 関西
- 5 主管 一般財団法人香川陸上競技協会
- 6 オフィシャルトップパートナー： 株式会社 明治
- 7 オフィシャルパートナー
三井住友海上あいおい生命保険株式会社 株式会社セレスポ 株式会社城山
富士通株式会社 株式会社富士通エフサス 中央自動車工業株式会社 株式会社 LIXIL
みずほリース株式会社 E N E O S 株式会社 ※順不同
- 8 オフィシャルスポンサー
日本航空株式会社 マット株式会社 伊藤超短波株式会社 株式会社オージーケーカブト
株式会社モリサワ 株式会社グロップサンセリテ ※順不同
- 9 オフィシャルサポーター
株式会社グロリアツアーズ 一般社団法人カンパラプレス 長谷川体育施設株式会社
E S 株式会社 松垣薬品工業株式会社 永和科学株式会社
株式会社 AOKI ※順不同
- 10 協力団体 (未定)
- 11 期 日 第1日目：2023年11月11日(土) :9時競技開始予定 (17時終了予定)
第2日目：2023年11月12日(日) :9時競技開始予定 (16時終了予定)
※11月10日(金)の受付並びに公式練習等の詳細については、後日HPにて告知する
- 12 会 場 屋島レクザムフィールド(高松市屋島競技場)
〒761-0112 香川県高松市屋島中町 374-1TEL087-802-7350 <https://www.yashima-f.jp/index.php>
【電車】 琴電志度線「屋島駅」下車徒歩約 2 分 琴電志度線「湊元駅」下車徒歩約 2 分
JR 高德線「屋島駅」下車、徒歩約 10 分
- 13 参加者及び出場資格 (※本競技会の出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする)
【知的障がい選手権クラスの競技者】
・厚生事務次官通知(昭和 49 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号)による療育手帳の交付を受けた者
または、公的判定機関で IQ75 以下の判定を受けた者
・2023 年度日本パラ陸上競技連盟登録者
【ダウン症選手権クラスの競技者】
・2023 年度日本パラ陸上競技連盟登録者
【パラ競技者(立位)】
・2023 年度日本パラ陸上競技連盟登録者でスポーツクラス(立位)に実施種目がある者
・主催者がエントリーを取りまとめ、持ち記録を参考に、下記 14 項により出場を認めた者

14. 競技クラスおよび競技種目

知的障がい 選手権クラス	トラック	11日(土) 100m、400m、1500m、10000m(男子)、3000mSC(男子)、4×100mR 12日(日) 200m、800m、5000m、400mH(男子:83.8cm)、4×400mR
	フィールド	11日(土) 走幅跳、砲丸投(男子:7.26kg、女子:4.00kg) やり投(男子:800g、女子:600g) 12日(日) 走高跳、三段跳(男子)、円盤投(男子:2.00kg、女子:1.00kg) ハンマー投(男子:7.26kg、女子:4.00kg)
ダウン症 選手権クラス	トラック	11日(土) 100m、400m 12日(日) 200m
	フィールド	11日(土) 走幅跳、砲丸投(男子:4.00kg、女子:3.00kg) やり投(男子:600g、女子:400g)
パラ陸上競技 記録会クラス	トラック	11日(土) 100m、400m、1500m 12日(日) 200m、5000m 実施クラスは実施種目一覧表を確認 ※参加者数により異なる競技クラスで一緒に競技を実施することがある
	フィールド	11日(土) 砲丸投、やり投 12日(日) 走幅跳 実施クラスは実施種目一覧表を確認 ①投てき物の重さは、実施種目一覧表で確認すること ②フィールド種目は3回試技とする ※参加者数により異なる競技クラスで一緒に競技を実施することがある

【知的障がい選手権クラス】

- (1) 参加標準記録を設定する
- (2) 3000mSC、5000m、10000mには制限タイムを設ける。3000mSCは13分、5000m男子は19分、女子は25分、10000mは40分とする。ラスト1周において制限タイムを超えた場合には、競走の途中であっても審判により中断することがある。記録は途中棄権とするので、この種目にエントリーする選手は、このことを十分理解してエントリーすること
- (3) リレー種目については参加標準記録を設定しない。また、個人種目でエントリーしていない選手をメンバーに入れることができる。エントリー記録にはチームでの記録もしくは目安の記録を記入すること。尚エントリー数は各団体の制限はなしとする
- (4) エントリー記録は以下を対象とし、期間は2022年1月1日からエントリー締切日までとする
 - ①当連盟(旧日本知的障がい者陸上競技連盟含む)が主催、共催、後援する競技会又は記録会
 - ②WPA公認競技会、エンドース競技会
 - ③日本陸連公認競技会、都道府県陸上競技協会主催競技会(日本陸連HP大会情報地域別情報にリストされ競技会コードがあるもの)
 - ④全国障害者スポーツ大会(各地域での全国障害者スポーツ大会予選会も含む)
 - ⑤都道府県障害者スポーツ協会等が主催する陸上競技会(記録会を含む)
 ※公認審判員が運営しないクラブ等の記録会における記録は認めない
 ※エントリー記録を明確にするため、記録証明書類(記録証明書、競技会HPリザルト等)を添付すること
 ※番組編成の際、優先する記録は上記①～③の大会での記録を優先する
- (5) 100m、200m、400mはスターティングブロックを使用するので最低限の扱いができることが望ましい

【ダウン症選手権クラス】

- (1) 参加標準記録とターゲットナンバーは設定しない
- (2) エントリー記録は以下を対象とする。期間は2022年1月1日からエントリー締切日までとする
 - ①当連盟(旧日本知的障がい者陸上競技連盟含む)が主催、共催、後援する競技会又は記録会
 - ②WPA公認競技会、エンドース競技会
 - ③日本陸連公認競技会、都道府県陸上競技協会主催競技会(日本陸連HP大会情報地域別情報にリストされ競技会コードがあるもの)
 - ④全国障害者スポーツ大会(各地域での全国障害者スポーツ大会予選会も含む)
 - ⑤都道府県障害者スポーツ協会等が主催する陸上競技会(記録会を含む)
 ※公認審判員が運営しないクラブ等の記録会における記録は認めない
 ※エントリー記録を明確にするため、記録証明書類(記録証明書、競技会HPリザルト等)を添付すること
- (3) 100m、200m、400mはスターティングブロックを使用するので最低限の扱いができることが望ましい

(4) 投てき種目については、十分な練習を積んだ上でエントリーすることが望ましい

【パラ陸上競技記録会】

(1) **参加標準記録とターゲットナンバーは設定しない**

(2) エントリー記録は以下を対象とする。期間は 2022 年 1 月 1 日からエントリー締切日までとする

① 当連盟が主催、共催、後援する競技会又は記録会

② WPA 公認競技会、エンドース競技会

③ 日本陸連公認競技会、都道府県陸上競技協会主催競技会(日本陸連HP大会情報地域別情報にリストされ競技会コードがあるもの)

15. 予備予選について

(1) 選手権クラスの 100m、200m、400m の種目で番組編成が 4 組以上になった場合は予備予選を実施する

(2) 申し込み資格記録(上記①～③の大会)上位 18 名は予選から、申し込み資格記録(上記①～③の大会)19 番以降の競技者及び上記④⑤の大会での記録でエントリーした選手は予備予選からの参加となる。なお上記①～③の大会でのエントリーが 18 名未満の場合は上記④⑤の大会での記録上位から 18 名になるまでの人数を割り当てる

(3) 予備予選におけるタイムレースで上位 6 名が予選に出場できる

16. 参加料について

知的障がい選手権/ダウン症選手権/パラ陸上競技記録会	1 種目 3,000 円
リレー種目	1 チーム 3,000 円

(1) 参加料は、エントリー時に下記送金先へ【ID+選手名】で振り込むこと。それ以外は認めない。

(2) チーム(団体)で一括して振り込む場合は、【ID+団体略称名】で振り込むこと。それ以外は認めない。振り込み後、エントリー選手名を大会事務局宛にメールで連絡すること。

(3) 納入された参加料は、主催者の責による事由で競技会を中止した以外、原則返金しない

(4) 送金先

株式会社ゆうちょ銀行 口座名義: シャ)ニホンパラリクジョウキョウギレンメイ
①郵便局から郵便局へ振り込む場合 : [記号] 14080 [口座番号] 55778591
②郵便局以外の金融機関から振り込む場合 : [店名] 四〇八(読み ヨンゼロハチ)
[店番] 408 [貯金種目] 普通預金 [口座番号] 5577859

17. 参加申し込み手順について

(1) 申し込み期間 2023 年 9 月 1 日(金)～10 月 2 日(月)12:00 まで

申し込みサポートについて、申し込みが困難な方は事務サポートをします。

事務サポート申し込み先 (application@ascotsupport.com) サポート料 800 円

サポート受付 (9 月 23 日迄)

(2) 申し込み先 大会事務局 E-mail jpajidaf@gmail.com

【知的障がい選手権クラス】 申し込みはエントリーフォームにより行う →URL https://forms.gle/TeyEVWKqaYxUa5aN7



【ダウン症選手権クラス】 申し込みは → URL : https://forms.gle/zgEPbtRUdirh5k6R9
--

【パラ陸上競技記録会クラス】 申し込みは → URL : https://forms.gle/yyY779anejGTm5hL8
--



18.競技規則について

- ・ 2022-2023 World Para Athletics (WPA) 競技規則並びに本競技会申し合わせ事項による
 - ・ ユニフォームのロゴをはじめ広告商標については、WA または WPA の広告規程のいずれかに合致していれば可とする
 - ・ 靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められない
- ※競技規則及び規程のリンク <https://para-ath.org/sports/basic-knowledge#rule>

19.クラス分けについて

- ・ 本競技会では、パラ競技者を対象とした一般社団法人日本パラ陸上競技連盟公認国内クラス分けは実施しない

20.ドーピング・コントロールについて

- (1)本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である
- (2)本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で、日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす
- (3)未成年者(18歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を記入のうえ、大会当日携帯すること。同意書は日本パラ陸上競技連盟のホームページ<医事委員会>からダウンロードできる
- (4)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること
- (5)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること

21.欠場について

- ・ 欠場する場合は、所定の期日までに必ず欠場届を提出すること。届け出なく欠場した者は、本連盟の主催・主管する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある
- ・ 競技会2日前(11月9日(木))までの欠場届は事務局へメールで提出すること
- ・ 競技会前日(11月10日(金))以降の欠場届は、TICもしくは事務局へメールで提出すること

22.表彰について

- ・ 各種目の第1位に選手権章メダル、第2位・第3位にはメダルを授与し、第8位までを表彰する。ただし、8人に満たない実施種目に関してはマイナス1システム(例えば7人のみのエントリー種目の場合は6位までの選手を表彰対象とする。)を採用する。尚、参加者が1名の種目においては表彰対象とする。希望者には記録証を渡す

23.個人情報の取り扱いについて

- (1)主催者は、個人情報の保護に関する法令及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、競技会出場資格審査、プログラム編成、記録発表、HP その他競技運営に必要な連絡等のみに使用する
- (2)競技会の映像、写真、記事、個人記録等は、主催者が承認した第三者が競技会運営及び宣伝等の目的で、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブサイト等の媒体に掲載することがある

24.ダウン症の介助について

「全国障害者スポーツ大会競技規則 陸上競技 第6条 助力」に則り、介助者による競技中の助力行為は認められない。助力を受けた競技者は失格とする

<競技規則の解説 陸上競技 第5節 介助者の役割 一部抜粋>

「スポーツへの参加を通じた社会参加の推進という目的を踏まえ、原則として競技者自身が一人で行動できるように指導・助言頂いているところである。介助者は、衣服の脱着や移動等において競技者が困難を要する事柄に限り介助する事ができる」

障害の種類や程度等の理由により介助者による補助や指示がどうしても必要な競技者については、上記内容を理解した上で、申し込み時にリクエスト申請用紙を記入し提出すること。または競技会当日TICに申請用紙を提出し主催者の許可を受けること。受理された場合は、主催者側で用意したビブスを着用し、介助にあたることができる。その際、競技エリアでは、競技役員の指示に従うこと

25. 競技エリアへの入退場について

アクセス区分を設けるため、競技者には「選手ID」、競技者1名につき1枚の「コーチID」を支給する。競技場並びに補助競技場においては、競技役員の指示に従うこと

26. その他

- (1) IPCライセンス登録及び国際クラス分けが終了し、ステイタスがCまたはRの競技者は、そのクラスで行った競技の記録がWPAランキングの対象となる。なおWPA世界記録/アジア記録の対象となるのは国際クラス分けステイタスがCまたはR(FRD2024以降)の競技者のみである。日本記録の公認についても同様とするが、国内クラス分けしか持たない者は、先述の「国際クラス分け」を「国内クラス分け」と読み替える
- (2) プログラムとアスリートビブス、参加賞は、陸上競技場正面選手受付にて配付する
- (3) 招集時刻に遅れた競技者は出場できない
- (4) 申し込み後の参加種目の変更は、一切受け付けない
- (5) 複数の種目にエントリーをする競技者は、競技運営の関係で競技時間の近接や、同じ時間になる場合があることを理解してエントリーすること。競技種目が重なり、一方の種目の招集時刻に間に合わない場合は、招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所に集合すること。その際、当該種目の競技役員にその旨を伝え、指示に従うこと
- (6) 今競技会では競技会の権威と運営の円滑を期するため、欠場については国際規則を適用し、極力避けること。やむを得ず欠場する場合は、欠場届(TICに用意)に必要な事項を記入し、出場する競技の招集時刻までにTICへ提出すること
- (7) リレーのオーダー用紙は招集所にて受け取り、招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること
- (8) スタートブロックのセッティングや走幅跳、やり投の助走のマーキングについて、競技者が実施できない場合は、「補助申請書(スタートブロック設置申請、マーカー設置申請等)」を招集所へ提出する。設置については、競技役員が行う
- (9) 不正スタートについては、1回目で失格となることを選手は十分理解しておくこと
- (10) 今大会はスタート・インフォメーション・システム(SIS)を使用しないため、スタートブロックの使用が必須のクラスにおいては、WR(世界記録)・AR(アジア記録)が認められない。ただし、WPAランキングの対象にはなる。
- (11) 健康や安全管理については、引率者の責任において十分配慮し事故の無いよう心がけること
特に次の点には十分に注意すること
ア 事前に参加者に健康診断を受けさせるなど競技会参加に支障がないか確認しておくこと
イ 競技会当日、参加者の体調が競技の参加に問題がないか再度確認すること
ウ 競技開始前の準備体操を各チーム責任で入念に行うこと
エ 傷害保険には主催者側で加入する
補償内容：死亡・後遺障害2,000,000円 入院1日3,000円 通院1回2,000円
オ 競技会中に生じたケガ等の応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は一切負わない
- (12) 正式な競技日程等、競技会に関する詳細は、日本パラ陸上競技連盟HPにて公表する
エントリーの誤り等、不備があった場合は、下記事務局へメールで連絡すること

【問い合わせ先】

2023日本ID陸上競技選手権大会事務局

E-mail : jpajidaf@gmail.com



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター